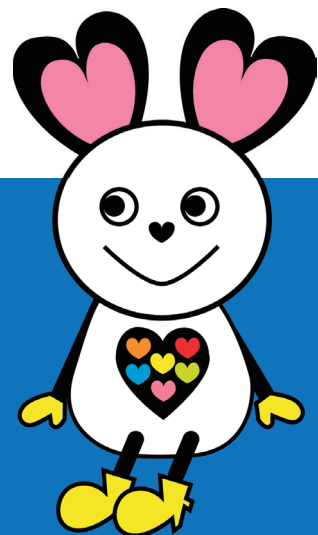


より良いてんかん診療を目指して

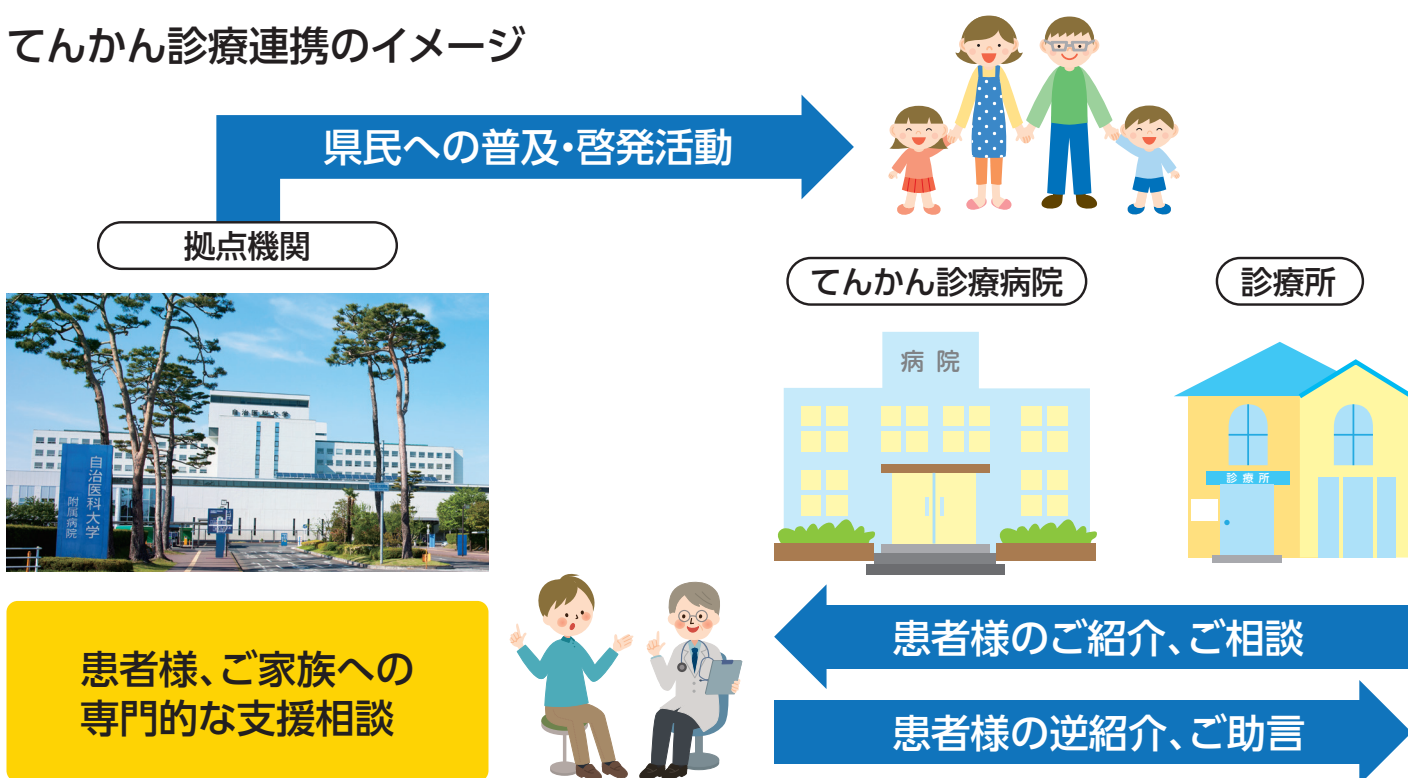


栃木県てんかん診療連携体制整備事業について

平成27年度から厚生労働省により、日本国内におけるてんかん診療体制を整備し、必要に応じて専門的なてんかん診療を提供するため、「てんかん地域診療連携体制整備事業」が開始されました。栃木県は、そのモデル事業を行う8都道府県の一つに選定されています。

このリーフレットは、栃木県民の皆様へ、本事業を知っていただくとともに、てんかんに対する理解を深めていただくために作成したものです。

てんかん診療連携のイメージ



てんかんとは？



てんかんは、意識を失う、けいれん、体の硬直など、さまざまな発作を繰り返す脳の病気の総称です。現在、国内に約100万人の患者がいると推計されています。てんかんの原因はさまざまで、先天性のものや脳の微小な損傷によるものから、原因不明のものまで多岐にわたります。

てんかんは、全年齢層にわたる病気であり、患者の数は100人から200人に1人とかなり多いのも特徴で、脳卒中、アルツハイマー病とならぶ三大神経疾患とも言われています。

てんかんの主症状であるてんかん発作も、全身のけいれんなどよく知られたものから、一見発作とは思えないようなものまでさまざまです。てんかん発作とてんかん以外の病気による症状とを的確に区別することが大切ですが、必ずしも簡単ではありません。まずは医療機関へ御相談ください。

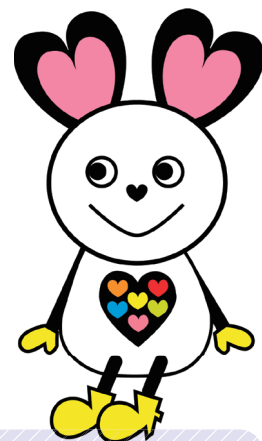


てんかんには、 次のような症状が 見られます。

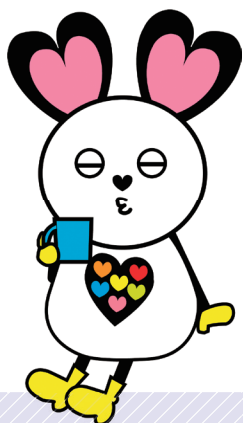
- ひきつけ、けいれん
- 意識を失い、倒れる
- ボーッととしていて声をかけてもまともな反応がない
- 顔や身体の一部がびくつく
- 身体が硬直する
- 寝ぼけているように動き回る



てんかんは子どもだけの
病気ではありません。



てんかんは子どもの病気と誤解されがちですが、大人でもてんかんのある人はいます。また、どのような年齢でも新しくてんかんにかかる可能性があります。しかし、新しくてんかんにかかるのは、特に幼少時と高齢者が多いことがわかっています。最近では、高齢になってはじめててんかんにかかる「高齢発症てんかん」が増えており、注目されています。



てんかんは正しい
診断と治療が重要です。

てんかんの診断は時にとっても難しいことがあります。また、正しく薬の治療を行えばおよそ7割の方は発作をなくして問題なく日常生活を送れますが、薬がきかない場合には手術を受ける方が良いこともあります。

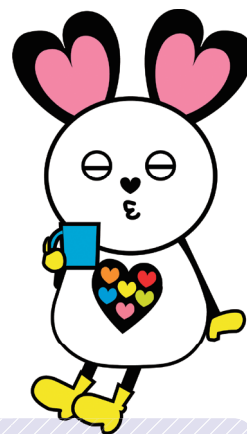
どこに相談すれば良いの？



まずは、お近くの内科・神経内科・小児科・脳神経外科・精神科等の医療機関へ御相談ください。

また、どの医療機関へ相談したら良いかわからない場合や専門的な診断や治療について相談したい場合には、裏面のてんかん診療拠点機関(自治医科大学附属病院てんかんセンター)へ御連絡ください。

てんかん診療拠点 機関について



栃木県では、自治医科大学附属病院をてんかん診療拠点機関に指定しています。
てんかん診療拠点機関では、てんかんの専門的な診断や治療に加え、患者や家族への専門的な相談支援、他の医療機関、自治体等や患者の家族との連携・調整を図るほか、治療や相談支援等に携わる医師等への普及啓発など多くの役割があります。

また、自治医科大学附属病院にはてんかんセンターを設置しております。

てんかんセンターの業務

- 難治性てんかんの検査治療
- てんかん患者およびその家族への専門的な相談支援
- 医療機関への助言など
- 地域における啓発活動
- てんかんの治療に対する研究活動

このような御相談をお受けします。

- セカンドオピニオンが聞きたい。
- 今の治療法で改善しない。詳しく調べたい。
- 長時間ビデオ脳波検査を受けたい。
- その他てんかんに対する支援体制などを調べたい。

～まずはお気軽に御相談ください～

〈栃木県てんかん診療拠点機関 問い合わせ先〉



自治医科大学附属病院 てんかんセンター

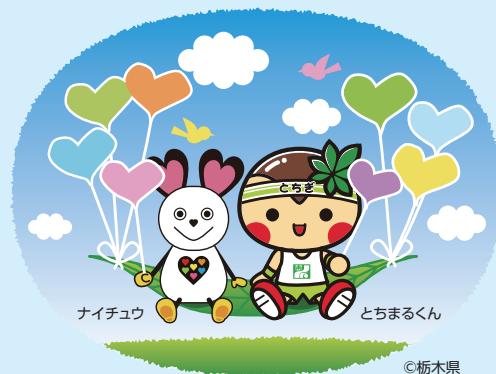
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

TEL 0285-58-8951(てんかん相談窓口)

HP <http://www.jichi.ac.jp/hospital/top/special/10.html>

〈栃木県てんかん診療連携推進協議会〉

事務局：栃木県保健福祉部障害福祉課



©栃木県